

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		活性化計画策定支援					所管	文化産業観光部 産業振興課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	24	計画事業名	活性化計画策定支援			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化 [小 柱] (2)地域経済の活性化 [施策] ①商店街の意欲を活かした振興						
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱				
	事業対象	商店街						
	事業目的	商店街の活性化を図るために行う各種調査、具体的な計画づくりに要する経費の一部を補助することにより、商店街・中小企業の発展、地域経済の活性化を図る。						
	事業内容	区内の商店街の活性化を図るために行う各種調査、具体的な計画づくりに要する経費の一部を補助する。 補助率:1/2(東京都が補助する場合は区と都を合わせて2/3以内) 限度額:任意250万円 法人300万円 複数500万円(区・都それぞれの限度額) (事業計画、実施設計を段階的に作成する場合は、最大2年間補助)						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	都						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	助成件数	件	2	1	1	2	
	成果指標							
	決算額 (単位:千円)				1,200	1,200	3,492	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			850	1,203	2,229	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,200	1,200	3,492	
		総経費			2,050	2,403	5,721	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			600	600	1,746	
一般財源(区負担額)			1,450	1,803	3,975			
前回評価から改善した事項	本事業を利用して商店街が策定した活性化計画が、次年度以降の商店街運営の改善や、商店街の活性化につながるよう、具体的かつ効果的な計画を策定するため、より積極的な指導・助言に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	商店街からの申請数により、年度によって助成件数に変化はあるが、本事業は商店街が将来に向けて計画的な事業を実施するうえで重要である。					
	効率性	3	事業の効果維持及び適正化のため、早い段階から積極的に指導・助言を行い効率化を図っている。					
	手段の適切性	3	補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査したうえでやっている。また、商店街に対して早い段階から積極的に指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図っている。					
	目的達成度	4	昨年度は目標とする実施件数を達成し、商店街・中小企業の発展および地域経済の活性化に資する事業となっている。今後もこの水準が維持されるよう努める。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
本事業は、商店街・中小企業の発展と地域経済の活性化を目指し、商店街が実行性のある計画を策定するために重要である。平成28年度の助成件数は目標値に達しており、必要性が高いため、評価を「維持」とした。今後も、より積極的に指導・助言を行うことで事業の効率化を図るとともに、東京都と連携しながら事業を進めていく。					維持			